

次の問題をよく読んで、正しいと思うものには「正」を、誤りと思うものには「誤」を、それぞれ答えなさい。ただし、問91~95のイラスト問題については、(1)~(3)のすべてに正解しないと得点にはなりません。

1
2
目
目

- 問1 歩道も路側帯もない道路を通行するときは、路肩にはみ出して通行してはならない。
- 問2 上り坂の頂上付近で前車が右折するため道路の中央に寄ったので、その左側を追い越した。
- 問3 「軌道敷内通行可」の標識に従って軌道敷内を通行していた自動車が、路面電車に追いついたので、その左側を追い越した。
- 問4 図1の標識のあるところでは、道路の道幅が6メートル以上あるので駐車してもよいことを表している。
- 問5 前車が原動機付自転車を追い越そうとしているときは、追い越しを始めてはならない。
- 問6 保護者が付き添わない児童や幼児が歩行しているときは、一時停止か徐行をして、その通行を妨げないようにしなければならない。
- 問7 左側部分の車道の幅が6メートル以上ある道路では、右側部分にはみ出して追い越しをすることができる。
- 問8 左側部分に2つの車両通行帯のある道路では、速度の速い車は右側の通行帯を通行しなければならない。
- 問9 普通乗用自動車は、車両通行帯のない道路では、道路の左寄りを通行しなければならない。
- 問10 青信号で交差点内を通行中、右方から緊急自動車が接近してきたので、ただちに交差点を出て、道路の左側に寄って一時停止した。
- 問11 図2の標示のある道路で駐車するときば、道路に斜めに駐車しなければならない。
- 問12 普通自動車は、左側部分に3つの車両通行帯のある道路では、最も右側の通行帯を通行しなければならない。
- 問13 交差点に入る直前で信号が黄色に変わったが、停止位置で安全に停止することができなかったので、そのまま進行した。
- 問14 見通しのきく道路の曲がり角の付近は、徐行すべき場所ではない。
- 問15 車は動力を切っても走り続けようとするが、それは慣性が働いているからである。
- 問16 エンジンオイルが規定量入っていれば、汚れていても薄くなっていても取り換える必要はない。
- 問17 A T車限定普通免許試験に合格した者が、免許証の交付を受ける前に普通自動車のオートマチック車を運転すると、無免許運転になる。
- 問18 図3の標識のある道路では、歩行者、車、路面電車のすべてが通行できない。
- 問19 身体障害者用の車いすや小児用の自転車、乳母車は、歩行者に含まれる。
- 問20 強制保険に加入していれば、その証明書を備えつけていなくても、自動車を運転することができる。
- 問21 交差点で右折するときは、交差点の中心から30メートル手前の地点で合図をしなければならない。
- 問22 標識や標示で禁止されていない道路ならば、いつでも横断・転回・後退ができる。
- 問23 安全地帯の左側は駐停車禁止の場所であり、その安全地帯に歩行者がいるときは徐行しなければならない。
- 問24 運転者は、荷台や座席でないところに荷物を積んで運転してはならない。
- 問25 図4の標識は、「自転車横断帯」を表している。
- 問26 普通自動車の免許を受けていれば、乗車定員15人の乗用自動車を運転することができる。
- 問27 バッテリーが完全に充電されていれば、ターミナルの締付けが緩んでいても、スターターモーターは回転する。
- 問28 前車に続いて走行するときは、前車の制動灯に注意する。
- 問29 前車との間に一定の車間距離を保って走行していると、割り込まれることがあるので、車間距離をとらないで走行した。
- 問30 免許所有者が住所を他の都道府県へ移動したときは、すみやかに新住所地を管轄する公安委員会に届け出なければならない。
- 問31 前車に追いつき、進路を変えずにその側方を通過し、その前方へ出てから進路を変えると、追い越しになる。
- 問32 図5は、「身体障害者標識」を表し、身体の不自由な運転者が普通自動車に表示するマークである。
- 問33 優先道路にある交差点でも、その手前30メートル以内の場所での追い越しは禁止されている。
- 問34 エンジンがオーバーヒートしたときは、エンジンに直接水をかけて、早く冷やしたほうがよい。
- 問35 乗用自動車の座席に荷物を積んで運転することができる。



図1

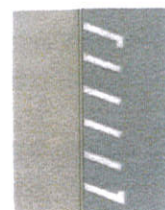


図2



図3



図4



図5

- 問36 人の乗り降りのため車を止めたときは、その乗り降りが終わるまでは、時間に関係なく「停車」である。
- 問37 高速自動車国道の本線車道を通行する自動車がないときは、加速車線を通らずに本線車道に入って加速してもよい。
- 問38 運転中は、前方だけでなく、ときどきバックミラーなどによって周囲の状況にも注意して運転しなければならない。
- 問39 図6の標識のあるところを、原動機付自転車で通行した。
- 問40 一時停止の標識がある交差点でも、ほかに交通がなく、安全が確認できるときは、徐行することができる。
- 問41 他の車が狭い道路から急に進路上に進入してきたので、危険防止のためやむを得ず急ブレーキをかけた。
- 問42 横の路地から他の車が突然道路上に飛び出してきたので、危険を防止するためやむを得ず警告音を鳴らした。
- 問43 一方通行の交差点付近以外を通行中、緊急自動車が接近してきたので、左側に寄ると進行を妨げるため、右側に寄って進路を譲った。
- 問44 パーキングメーターがある場所で荷物の積み下ろしを10分間行うときは、メーターを作動させないで停止することができる。
- 問45 信号機のない踏切であっても、遠方まで見通しがきき、列車が来ないことが明らかなきときは、一時停止しないで通過できる。
- 問46 図7の標示は、この標示がある道路と交差する前方の道路が優先道路であることを表している。
- 問47 燃料が完全に燃えていないときは、排気の色は白色になる。
- 問48 左に進路を変更するとき、右腕を車の右側の外に出して、ひじを垂直に上に曲げて合図をした。
- 問49 踏切で安全確認のため停止している車の前方に余地があったので、その車の横を通過して直前に入って停止した。
- 問50 交通が混雑していて自転車横断帯の上で停止するおそれがあったが、自転車が通行していなかったためそのまま進出した。
- 問51 夜間、対向車と行き違ふとき、その進行を妨げないように前照灯を下向きにした。
- 問52 ファンベルトを点検するときは、目で見て傷を調べ、手で押して緩みを見る。
- 問53 図8の標識のあるところでは、安全が確認できれば警告音を鳴らさなくてもよい。
- 問54 普通自動車は、故障した車を3台までけん引することができる。
- 問55 車両通行帯のある道路で、標識などによって交差点で進行する方向ごとに通行区分が定められているときは、車は定められた区分に従って通行しなければならない。
- 問56 運転中、交通事故を起こしたが、相手方と話し合いがついたため、警察官に報告しないでそのまま運転した。
- 問57 運行前の点検で、灯火類が確実に点灯すれば、レンズに傷があつたり割れていたりしてもかまわない。
- 問58 優先道路を通行していても、左右の見通しがきかない交差点では、徐行しなければならない。
- 問59 荷待ちのために車を止めても、運転者がただちに運転できる状態にあるときは、「停車」である。
- 問60 図9の標識は「二方向交通」を表し、対向車がくることがあるので注意して進行する。
- 問61 他の車をけん引できるのは、大型自動車、中型自動車、普通自動車、大型特殊自動車は2台、自動二輪車と小型特殊自動車は1台である。
- 問62 車を路側帯に入れて駐車するときは、路側帯の幅に関係なく、左側端いっぱい寄せて駐車しなければならない。
- 問63 停止している前車が、対面する信号が青色に変わっても発進しなかったため、警告音を鳴らして発進を促した。
- 問64 高速自動車国道における大型自動車の最高速度は、乗用・貨物の区別なく、100キロメートル毎時である。
- 問65 普通自動車を運転して路線バスの優先通行帯を通行中、後方から路線バスが接近してきたため、他の通行帯に進路を変えた。
- 問66 自動二輪車のエンジンを止めて押して歩くときは、歩道や路側帯を通行することができる。
- 問67 図10の標識は、大型自動二輪車と普通自動二輪車は、二人乗りをして通行してはいけないことを表している。
- 問68 免許証を紛失して再交付を受けた場合の有効期限は、紛失した免許証の有効期限と同じである。
- 問69 一方通行の道路で右折するときは、あらかじめ道路の中央に寄り、交差点の中心の内側を徐行しなければならない。
- 問70 信号機の表示する信号と交通巡視員の手信号とが違ふときは、信号機の表示する信号に従うなければならない。
- 問71 60キロメートル毎時で走行していた車が、速度を20キロメートル毎時以下に落としたときは、徐行したことになる。
- 問72 交通規制に定められていないことは、運転者の自由であるから、自分中心に判断して運転すればよい。
- 問73 高速道路を進行中、出口を間違えて通り過ぎたときは、次の出口から出なければならない。



図6

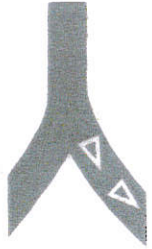


図7

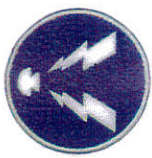


図8



図9



図10

- 問74 図11の標識のある交差点では、安全が確認できれば必ずしも一時停止しなくてもよい。
- 問75 ハンドブレーキよりもフットブレーキのほうが、効きがよい。
- 問76 交通整理が行われていない道幅の同じような交差点に入ろうとしたとき、右方から路面電車が接近してきたが、自分が左方なので先に進行した。
- 問77 ラジエータの冷却水が不足していると、エンジンが過熱する。
- 問78 青色の信号がかなり手前から見たので、信号が変わってもそれに応じられるように、速度を控えめにして運転した。
- 問79 乗車定員5人の乗用自動車に、8歳の子どもを6人乗せて運転した。
- 問80 普通自動車の仮免許を受けた者は、原動機付自転車を運転できる。
- 問81 図12の標識は、交通規制が前方で行われていることの予告するものである。
- 問82 こう配の急な上り坂では、停車はできるが、駐車はできない。
- 問83 交通整理が行われていない、左右の見通しがきかない交差点を通行するときは、標識がなくても警音器を鳴らして徐行する。
- 問84 警報機が鳴っている間は、列車が通過した後であっても、踏切に入ってはならない。
- 問85 からの荷台に荷物を積むために必要な人を乗せて運転するときは、警察署長の許可を受けなくてもよい。
- 問86 前車が大型自動車のため前方の信号が見えなかったが、横の信号が赤色だったので、前車に続いて交差点に進入した。
- 問87 走行中にタイヤがパンクしたときは、急ブレーキをかけると車は横転しやすくなる。
- 問88 図13の標示は、前方に横断歩道や自転車横断帯があることを表している。
- 問89 エンジンブレーキは、チェンジレバーを「ニュートラル」にすると効かなくなる。
- 問90 踏切で車が故障して動かなくなったときは、踏切支障報知装置があればそれを活用すべきである。
- 問91 交差点を左折するため10キロメートル毎時に減速しました。どのようなことに注意して運転しますか？



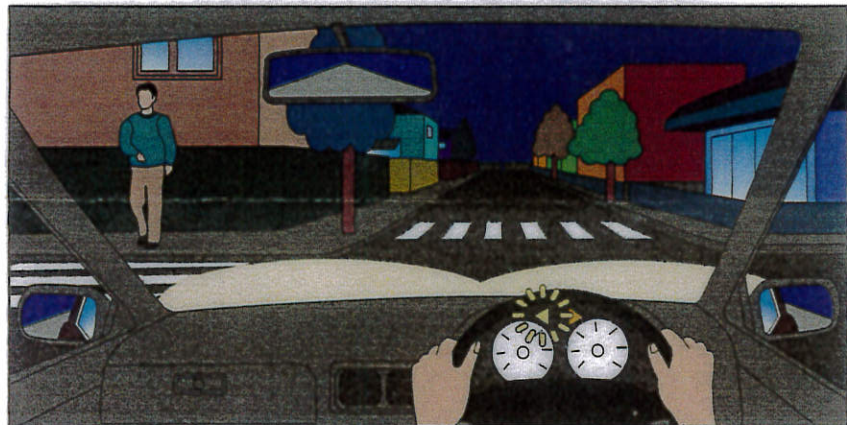
図11



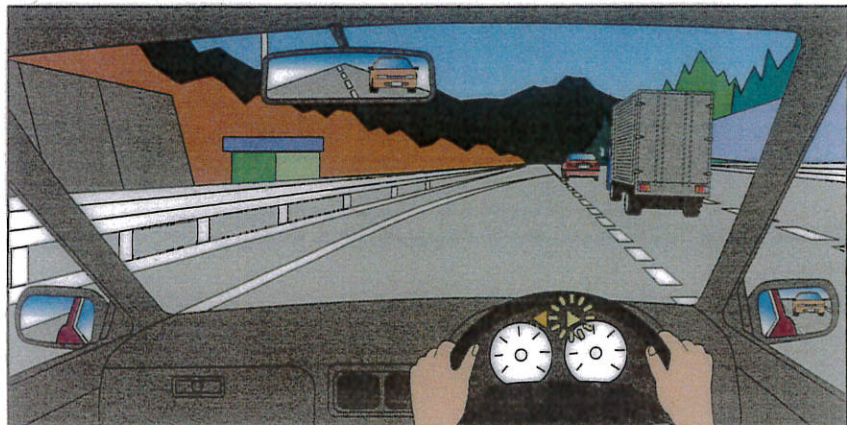
図12



図13

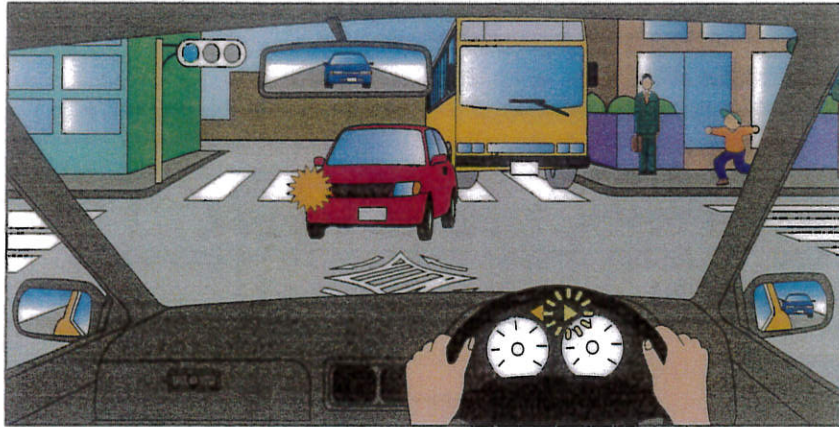


- (1) 歩行者が横断歩道の横断を始めているので、横断を終えるまでその手前で待つ。
- (2) 夜間は視界が悪くなるため自転車などの発見が遅れがちになるので、十分注意して左折する。
- (3) 前照灯の照らす範囲の外は見えにくいので、左側の横断歩道全体を確認しながら進行し横断歩道の手前で止まる。
- 問92 高速道路の加速車線を50キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



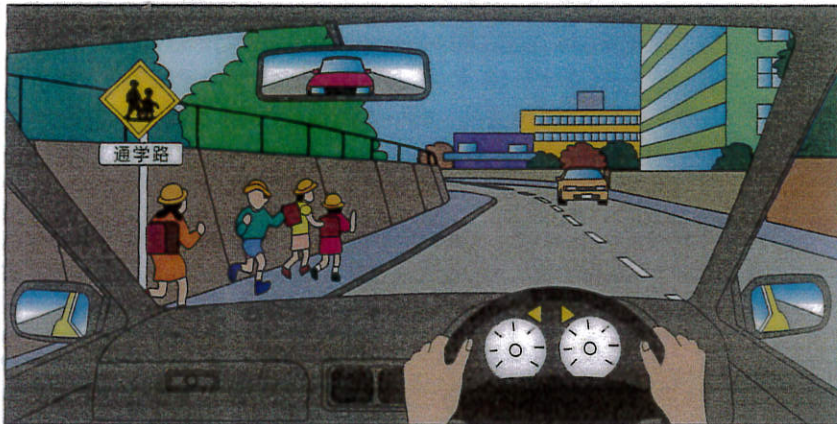
- (1) 本線車道の後方から来る車との距離が十分にあると思われるので、すぐに本線車道に入る。
- (2) 車のバックミラーの死角に他の車が来ているかもしれないので、自分の目で安全を確かめる。
- (3) 本線車道の後方から車が来ているが、追い越し車線は空いているので加速して一気に追い越し車線に入る。

問93 交差点で右折待ちのため止まっています。どのようなことに注意して運転しますか？



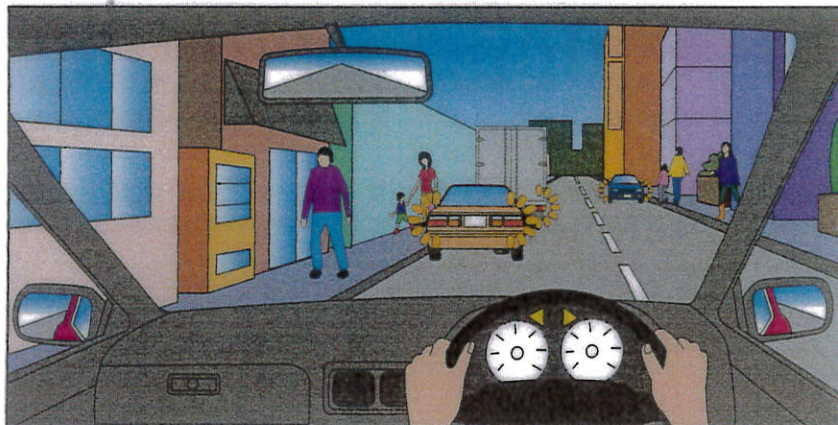
- (1) バスは対向の乗用車に妨げられずには進行してこないと思われるので、その前に右折する。
 (2) バスは自分の車が右折するのを待ってくれると思われ、また後続車がいるのですばやく右折する。
 (3) バスの後ろの状況が分からないので、バスが通過したあとでようすを確かめてから右折する。

問94 40キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



- (1) 子どもが車道に飛び出してくるかもしれないので、ブレーキを数回に分けて踏んで、速度を落として進行する。
 (2) 子どもの横を通過するときに、対向車と行き違うと危険なので、加速して、子どもの横を通過する。
 (3) 子どもがふざけて車道に飛び出してくるかもしれないので、中央線を少しはみ出して通過する。

問95 30キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



- (1) 道路の両側に駐車車両があるが、道路中央付近が空いているので、このままの速度で駐車車両の間を縫って通過する。
 (2) 道路の両側に駐車車両があるので、速度を落として側方の間隔を保って通過する。
 (3) 歩行者がトラックのかけから出てくるかもしれないので、左側に注意して進行する。